



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月5日

上場会社名 ケイヒン株式会社  
コード番号 9312 URL <https://www.keihin.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉山 光延  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 荒井 正俊  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-3456-7825

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	38,415	0.1	2,838	18.7	3,110	19.7	2,092	16.8
2025年3月期第3四半期	38,367	7.0	2,390	10.3	2,597	11.0	1,791	14.4

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 2,982百万円 ( 54.6%) 2025年3月期第3四半期 1,929百万円 ( △33.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	320.50	—
2025年3月期第3四半期	274.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	54,405	32,717	60.1
2025年3月期	51,106	30,256	59.2

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 32,717百万円 2025年3月期 30,256百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	80.00	80.00
2026年3月期	—	—	—		
2026年3月期(予想)				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)									
	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	51,000	1.1	3,400	17.3	3,700	19.3	2,500	14.2	382.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期3Q	6,536,445株	2025年3月期	6,536,445株
2026年3月期3Q	7,907株	2025年3月期	7,809株
2026年3月期3Q	6,528,573株	2025年3月期3Q	6,528,761株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成されたものであり、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】P3「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(表示方法の変更) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2025年4月1日から2025年12月31日まで）のわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復が続きましたが、米国の通商政策の影響、物価上昇の継続による消費者マインドの下振れ、地政学リスクの長期化、金融資本市場の変動など景気減速のリスクが懸念されており、先行きは依然として不透明な状態が続いています。

このような環境の中、当社グループにおいては、お客様のニーズに対応した高品質な物流サービスの提供と生産性の向上を通じて、事業基盤の強化に努めてまいりました。

国内物流事業では、施設の拡充・高度化を通じて取扱拡大を推進しました。国際物流事業では、物流課題の解決に寄与するトラッキングWEBサービスのお客様へのご提案など、取引拡大に向けた営業活動を推進し、輸出車両取扱いについても積極的な集荷活動により堅調に推移いたしました。

これらの取組みの結果、国内物流事業は保管残高の高水準な推移に加え、スポット貨物の取り込みにより増収増益となり、国際物流事業は航空運送取扱業の減少により、減収減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は384億1千5百万円（前年同期比4千7百万円の増収、0.1%増）、営業利益は28億3千8百万円（前年同期比4億4千7百万円の増益、18.7%増）、経常利益は31億1千万円（前年同期比5億1千2百万円の増益、19.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は20億9千2百万円（前年同期比3億1百万円の増益、16.8%増）となりました。

当社グループのセグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### セグメント別売上高

セグメント	前第3四半期 連結累計期間 (百万円)	当第3四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期比増減（△印減）	
			金額(百万円)	比率(%)
国内物流事業	21,709	21,929	220	1.0
国際物流事業	17,372	17,259	△113	△0.7
セグメント間内部売上高	△714	△773	△58	—
合 計	38,367	38,415	47	0.1

#### 国内物流事業

国内物流事業におきまして、倉庫業は、保管残高が高水準で推移したことに加え、再保管等のスポット案件の取扱い増加等により、売上高は71億8千9百万円（前年同期比9.7%増）となりました。流通加工業は、取扱い個数は増加しましたが出荷件数が減少したことにより、売上高は52億6千2百万円（前年同期比1.4%減）となりました。陸上運送業は、配送の取扱いが減少したことにより、売上高は86億5百万円（前年同期比4.0%減）となりました。

以上の結果、国内物流事業の売上高は219億2千9百万円（前年同期比2億2千万円の増収、1.0%増）、営業利益は27億7千7百万円（前年同期比4億4千万円の増益、18.9%増）となりました。

#### 国際物流事業

国際物流事業におきまして、国際運送取扱業は複合一貫輸送の取扱いが減少したものの、輸出車両の海上輸送の取扱いが増加し、売上高は150億2百万円（前年同期比0.5%増）、航空運送取扱業は、輸出入ともに取扱いが減少し、売上高は6億9千5百万円（前年同期比34.0%減）、港湾作業は輸出車両取扱いの増加に伴い、船内荷役、沿岸荷役とも取扱いが増加し、売上高は15億6千万円（前年同期比12.8%増）となりました。

以上の結果、国際物流事業の売上高は172億5千9百万円（前年同期比1億1千3百万円の減収、0.7%減）、営業利益は12億6千8百万円（前年同期比2千4百万円の減益、1.9%減）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して32億9千8百万円増加し544億5百万円となりました。この要因は、現金及び預金の増加等により流動資産が20億4千6百万円増加したことや、投資有価証券の含み益の増加により固定資産が12億5千4百万円増加したことによるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末と比較して8億3千8百万円増加し216億8千8百万円となりました。この要因は、借入金は減少したものの、繰延税金負債等が増加したことによるものであります。

純資産合計は、利益剰余金及びその他の包括利益累計額の増加により前連結会計年度末と比較して24億6千万円増加し327億1千7百万円となりました。

自己資本比率は、純資産の増加により前連結会計年度末の59.2%から60.1%へ上昇し、借入金依存度は、借入金の減少により前連結会計年度末の15.2%から13.6%へ低下しました。

決算年月	2024年12月	2025年3月	2025年12月
自己資本比率 (%)	57.5	59.2	60.1
借入金依存度 (%)	16.1	15.2	13.6

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

借入金依存度：借入金残高（社債含む）／総資産

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期連結業績予想につきましては、2025年5月12日に公表いたしました2026年3月期の通期連結業績予想を修正しております。詳細は本日公表いたしました「通期連結業績予想の修正および配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,461	9,860
受取手形及び営業未収金	4,504	4,870
電子記録債権	383	299
その他	1,471	2,837
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	15,817	17,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	54,663	55,098
減価償却累計額	△38,479	△39,431
建物及び構築物（純額）	16,183	15,666
機械装置及び運搬具	3,080	3,035
減価償却累計額	△2,708	△2,745
機械装置及び運搬具（純額）	372	289
工具、器具及び備品	2,295	2,354
減価償却累計額	△1,967	△2,045
工具、器具及び備品（純額）	328	309
土地	6,809	6,809
リース資産	1,527	1,604
減価償却累計額	△800	△831
リース資産（純額）	727	773
建設仮勘定	36	191
有形固定資産合計	24,457	24,039
無形固定資産		
借地権	977	977
その他	262	250
無形固定資産合計	1,239	1,228
投資その他の資産		
投資有価証券	8,303	9,950
繰延税金資産	187	174
その他	1,139	1,196
貸倒引当金	△45	△53
投資その他の資産合計	9,585	11,268
固定資産合計	35,282	36,536
繰延資産		
社債発行費	7	5
繰延資産合計	7	5
資産合計	51,106	54,405

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	2,943	2,984
短期借入金	2,808	2,893
1年内償還予定の社債	240	240
リース債務	261	253
未払法人税等	640	524
その他	2,089	3,612
流動負債合計	8,982	10,508
固定負債		
社債	280	160
長期借入金	4,450	4,128
リース債務	542	603
繰延税金負債	1,015	1,529
役員退職慰労引当金	1,137	1,195
退職給付に係る負債	2,253	2,237
長期前受金	966	—
資産除去債務	771	779
その他	449	546
固定負債合計	11,867	11,179
負債合計	20,850	21,688
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,376	5,376
資本剰余金	4,415	4,415
利益剰余金	16,895	18,465
自己株式	△14	△15
株主資本合計	26,672	28,242
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,926	3,963
為替換算調整勘定	532	390
退職給付に係る調整累計額	125	121
その他の包括利益累計額合計	3,583	4,474
純資産合計	30,256	32,717
負債純資産合計	51,106	54,405

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	38,367	38,415
売上原価	34,404	33,989
売上総利益	3,962	4,425
一般管理費	1,572	1,587
営業利益	2,390	2,838
営業外収益		
受取利息	31	29
受取配当金	233	275
その他	43	40
営業外収益合計	309	345
営業外費用		
支払利息	47	51
為替差損	34	8
その他	21	14
営業外費用合計	102	73
経常利益	2,597	3,110
特別利益		
投資有価証券売却益	117	—
特別利益合計	117	—
特別損失		
固定資産処分損	27	20
投資有価証券評価損	3	—
特別損失合計	31	20
税金等調整前四半期純利益	2,683	3,089
法人税、住民税及び事業税	951	1,010
法人税等調整額	△58	△13
法人税等合計	892	997
四半期純利益	1,791	2,092
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,791	2,092



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,791	2,092
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97	1,036
為替換算調整勘定	37	△141
退職給付に係る調整額	3	△4
その他の包括利益合計	138	890
四半期包括利益	1,929	2,982
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,929	2,982
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において一括表示していた「営業外収益」の「受取利息及び配当金」は、金額的重要性が増加したため、当第3四半期連結累計期間より「受取利息」（当第3四半期連結累計期間29百万円）と「受取配当金」（当第3四半期連結累計期間275百万円）に独立掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外収益」の「受取利息及び配当金」に表示していた265百万円は、「受取利息」31百万円、「受取配当金」233百万円として組替えております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,076	17,291	38,367	—	38,367
セグメント間の内部売上高 又は振替高	633	81	714	△714	—
計	21,709	17,372	39,081	△714	38,367
セグメント利益	2,337	1,293	3,630	△1,239	2,390

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,239百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△1,238百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	国内物流事業	国際物流事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,262	17,153	38,415	—	38,415
セグメント間の内部売上高 又は振替高	667	106	773	△773	—
計	21,929	17,259	39,188	△773	38,415
セグメント利益	2,777	1,268	4,046	△1,207	2,838

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,207百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用△1,208百万円であります。全社費用は、主として報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。  
 なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	1,489百万円	1,401百万円